

自ら**学ぶ力**をはぐくむ
豊かな**心**をはぐくむ
健康な**体**をはぐくむ
郷土**愛**をはぐくむ

県北プライド



「夢をかなえる教育」「笑顔あふれる学校」をめざして 校長 阿部 央

あいさつの大切さ ～全校集会 校長講話～

6月10日(水)に放送による全校集会(生徒総会)を行いました。その際、校長から以下の話をしました。

突然ですが、私は県北中学校の校長としてプライドと誇りを持っています。

県北中学校の生徒の皆さんに関して、誇れるものはたくさんありますが、私は特に、「あいさつ」と「いじめゼロ」に向けた取り組みに力を入れていることを誇りに思っています。

あいさつは「心のキャッチボール」とよく言われますし、「いじめゼロ」にもつながる大切なものだと思います。それはなぜでしょう。

いじめは「思いやりの不足」から発生するのだと思います。「思いやり」は、基本的な人権の尊重に通じるもので、どんな場合でも相手の身になって考えられる言動を言います。

人はそれぞれに育ってきた環境や考え方に違いがあります。まったく同じ人はいません。自分と違って当然なのです。違いがあることをお互いに認め合って行動できるかどうかのポイントです。

あいさつをボールにたとえるとどうでしょう。朝、学校に登校して友達や先生に「おはようございます」と「あいさつのボール」を投げる。相手から「おはようございます」とボールが返ってくる。とてもすがすがしい一日がスタートするような気持ちになるものです。

一つのあいさつが、相手や周りの人たちを明るくすることができるのだと思います。あいさつは「互いの存在を認め合う」という人間関係の基本」となるものです。自分があいさつした時に相手からあいさつが返ってこない、無視されたような気持ちになりませんか。

人は誰でも、自分の存在を認めてもらえることはうれしいもので、安心した気持ちになれるものです。互いの存在を認め合い、尊重し合う学校にはいじめや暴力など存在しません。

私は、昨年度まで仕事の関係で数多くの学校を訪問しました。それぞれの学校の玄関に入ると、その学校の雰囲気や様子がよくわかります。生徒の皆さんが「こんにちは」と元気よくあいさつしてくれる学校は、学校全体が活気に溢れ、明るい雰囲気が漂っています。あいさつって大切だなと感じる瞬間です。

これからもぜひ、あいさつが飛び交う県北中学校であってほしいと願っています。

さて、この後、皆さんが考えた今年度の生徒会スローガンについて発表があるかと思います。前向きで若者らしいエネルギーを感じる素晴らしいスローガンだと思います。

今の県北中学校の雰囲気にぴったりのスローガンです。今日から来年の3月まで、全校生がこのスローガンをしっかり意識して、勉強に部活動に取り組んでいくことを願って、私の話を終わります。

